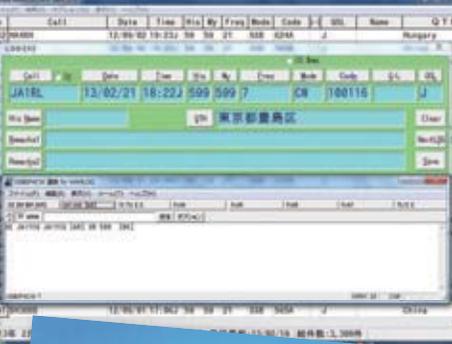
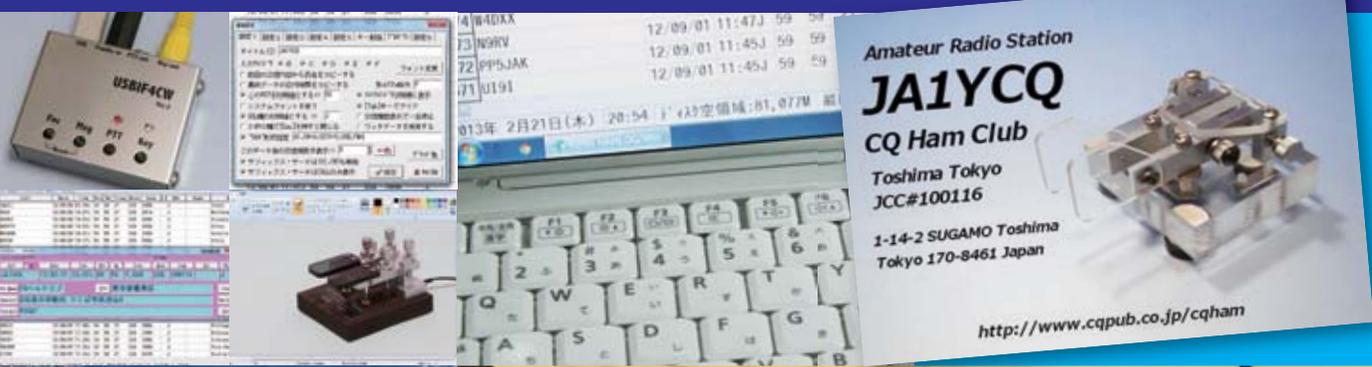


Turbo HAMLOG for Windows をもっと使いこなすために

ひとつ上の HAMログ活用

見本

★★★★★★★★★★★★★★★★ CQ ham radio編集部 [編] ★★★★★★★★★★★★★★★★★★





Chapter 02

交信記録を瞬時に表示 多彩な検索機能を持つ Turbo HAMLOG

多くの方が利用している Turbo HAMLOG ですが、多彩な検索機能を活用されているでしょうか。「いや、ログ・ソフトとしてのみ活用しているが、検索機能はそれほど使ったことがない」という方もいることでしょう。でも、Turbo HAMLOG を使っているなら、ぜひこの機能を使ってみてく

ださい。QSLカードの受領チェックや交信記録の修正、市、郡、区、町、村、DXCCエンティティとの交信状況などを検索表示ができます。

本章では、Turbo HAMLOG が持つ検索機能の一部を紹介します。



2-1 Turbo HAMLOG のメニューから さまざまな検索を行う

■ メニューの「検索 (S)」から

メニューの「検索 (S)」をクリックすると表示されるプルダウン・メニュー (図 2-1) から、さ

まざまな検索項目が選べます。

それぞれについて、ハムログのヘルプに基づきながら説明します。

Turbo HAMLOG/Win Ver5.21b									
ファイル(F) 検索(S) オプション(O) 表示(V) ヘルプ(H)									
No	Date	Time	Code	QSL	Name				
						QSL受領マーク(M)...			
3154	2012/08/13	16:35J	599	599	7	CW			J**
3155	2012/08/13	16:36J	599	599	7	CW			J**
3156	2012/08/13	16:37J	599	599	7	CW			J**
3157	2012/08/13	16:38J	599	599	7	CW			J**
3158	2012/08/13	16:39J	599	599	7	CW			J**
3159	2012/08/13	16:40J	599	599	7	CW			J**
3160	2012/08/13	16:41J	599	599	7	CW			J**
3161	2012/08/13	16:42J	599	599	7	CW			J*
3162	2012/08/13	16:43J	599	599	7	CW			J**
3163	2012/08/13	16:44J	599	599	7	CW			J*
3164	2012/08/13	16:45J	599	599	7	CW			J**
3165	2012/08/13	16:46J	599	599	7	CW			J**
3166	2012/08/13	16:47J	599	599	7	CW			J**

図 2-1
メニューにある検索 (S) の
プルダウン・メニュー

• QSL 受領マーク (M)

JARL BURO などから QSL カードが届いたとき、該当する交信データを検索して QSL カード受領欄にチェックを入れる機能です。

「QSL 受領マーク (M)」をクリックすると、図 2-2 の画面が表示されます。コールサインの入力ウィンドウに QSL カードが届いた局のコールサインを入力すると、交信データが出てきます (図 2-3)。ログ・データと QSL カードのデータがほぼ一致したら「Insert」キーを押します。「QSL」の欄に「*」マークが付き、QSL カードを受領したことになります。このとき、対象となる交信データをダブルクリックすれば、QSL カードに書かれている内容 (QTH や名前、グリッド・ロケーター、Remarks など) に基づいて、交信デー

タの追加や変更ができます。

同じ局と複数回交信している場合は、QSL カード未受領のデータすべてが図 2-4 のように表示されます。この場合は、QSL カードのデータと合う交信データを選び「Insert」キーを押せば受領になります。

ここでよく忘れるのが、「Wkd/Cfm マスター集計」の再集計です。QSL 受領マークの打ち込みが終わればメニュー・バーの「表示 (V)」→「Wkd/Cfm マスター集計 (M)」と進み、図 2-5 の「Wkd/Cfm マスター集計」画面で再集計を行ってください。これを行わないと、新しく入力した「QSL 受領」のデータが「Wkd/Cfm マスター集計」に反映されません。

ほかにも「QSL 受領」マークを効率良く付ける方法として「QSL 未着コール順一覧 (S)」があります。詳しくは「そのほかの検索方法」内の「QSL 未着コール順一覧 (S)」で説明します。

両方使ってみて、使いやすいほうを選んでください。

• コールサインで検索 (C)

この機能は、その局と交信しているかどうかを



図 2-2 QSL 受領マーク・ウィンドウ

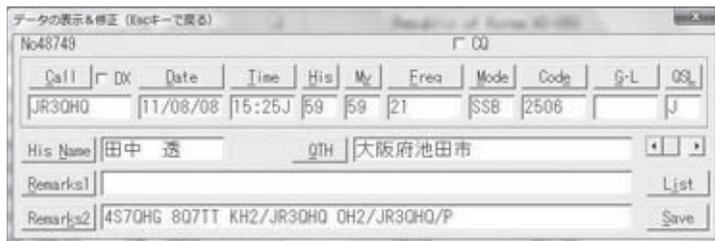


図 2-3
QSL 受領マークからの検索結果

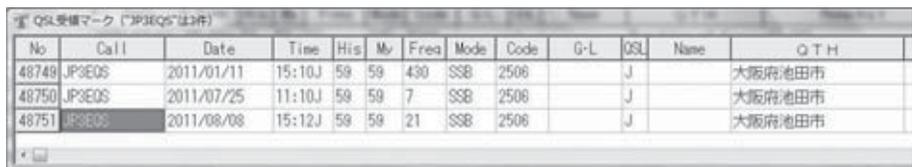


図 2-4
複数の結果があるときは一覧表示される



交信データを効率良く修正する方法

「Turbo HAMLOG」に記録した交信データを効率的に修正する方法を紹介します。1件ずつ修正するのが面倒な方はぜひご覧ください。さらに、

外部の交信データを「Turbo HAMLOG」に取り込む方法も説明します。



3-1 交信データの文字列を一括で修正する

Turbo HAMLOGに入力した文字を一括して修正する方法です。例えば、移動運用に行った際、Remarks欄に入力した自局の運用地名を間違ったときの修正や、JCC/JCGナンバーやグリッド・ロケーターなどを後から追加したりすることもできます。

■ 文字列の置換を行う

文字列の修正には、「文字列の置換」機能を利用します。これは、ある文字列をすべて別の文字

列に置き換えてしまうというものです。この機能で置換できるのは「His Name」「Mode」「QTH」「Remarks 1」「Remarks 2」の5項目です。作業前には、念のためにバックアップを取っておきます。

■ 作業手順

「Remarks 1」に入力した移動運用地を「茨城県土浦市（図3-1）」から「千葉県野田市」への修正を例に、作業手順を示します。

No	My	Freq	Mode	Code	G-L	QSL	Name	QTH	Remarks 1
1	59	7	SSB	1403		J	茨城県土浦市	茨城県土浦市	当局の移動地：茨城県土浦市
2	59	7	SSB	2708		J	兵庫県伊丹市	茨城県土浦市	当局の移動地：茨城県土浦市
3	59	7	SSB	1222		J	千葉県我孫子市	茨城県土浦市	当局の移動地：茨城県土浦市
4	59	7	SSB	2506		J	茨城県土浦市	茨城県土浦市	当局の移動地：茨城県土浦市
5	59	7	SSB	100118		J	東京都豊島区	茨城県土浦市	当局の移動地：茨城県土浦市
6	59	7	SSB	1220		J	千葉県船山市	茨城県土浦市	当局の移動地：茨城県土浦市
7	59	7	SSB	1332		J	埼玉県久喜市	茨城県土浦市	当局の移動地：茨城県土浦市
8	59	7	SSB	1430		J	茨城県かずみがうら市	茨城県土浦市	当局の移動地：茨城県土浦市
9	59	7	SSB	1222		J	千葉県我孫子市	茨城県土浦市	当局の移動地：茨城県土浦市
10	59	7	SSB	200107		J	名古屋市瑞穂区	茨城県土浦市	当局の移動地：茨城県土浦市

図 3-1
Remarks 1 の移動地を修正する

- ①メニューの「オプション(O)」から「データの保守(D)」と進み、「文字列の置換(C)」をクリックして(図3-2)、「文字列の一括置換」を表示させる(図3-3)。
- ②「対象文字列」に修正を行う前の文字列(茨城県土浦市)を入力する。「置換文字列」に修正後の文字列(千葉県野田市)を入力する。修正するデータの範囲は、レコード番号を入力する。置換する項目をチェックする。ここでは「Remarks 1」にチェックを入れる。空欄の項目に書き込む場合は、対象文字列に「¥¥¥¥」を入力する。置換文字列に入力した文字列が空欄の項目に反映される。「開始(G)」をクリックすると置き換えの許可を求める画面が表示される(図3-4)。

- ③「メインウィンドウ上で置換確認する」にチェックを入れていた場合、1 交信ずつ置換確認が行える。書き換ええないデータが途中にあるときは、このチェックを入れておく。置換の確認が不要な場合はこのチェックを外す。
- ④「開始」ボタンをクリックすると、文字列の置換を開始する。「メインウィンドウ上で置換確認する」にチェックを入れていた場合、「置換確認」(図3-5)が表示されるので、確認後「Enterキー」を押すと次のデータに移る。修正しないデータのときは「いいえ(N)」をクリックする。「メインウィンドウ上で置換確認する」のチェックを外した場合は、置き換えの確認画面(図

図 3-2
文字列の置換をクリック

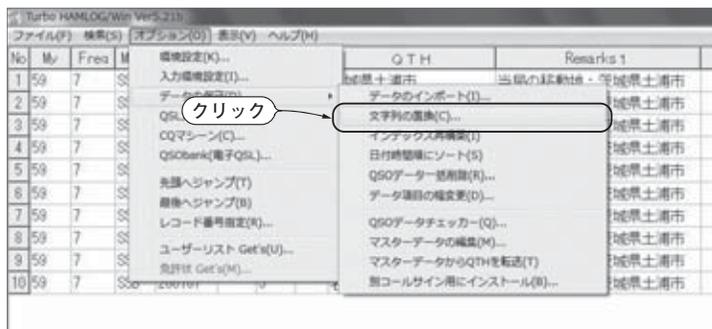


図 3-3
文字列の一括置換





一度使うと手放せない 運用をサポートしてくれる 便利な機能



4-1 交信相手の情報がわかる コール・テキスト表示

■「コール・テキスト表示」とは

「Turbo HAMLOG」には、交信を楽しくしてくれる便利な機能がいくつも用意されています。その一つが「コール・テキスト表示」です。この機能は、コールサインをキーとして、アイボールの履歴や誕生日、これまでの交信内容などの情報を登録しておくことで、交信の際に話題を提供してくれる「言葉のアルバム」です。

以前アイボールした局と初めての交信、でもうっかりラバースタンプ QSO で終わってしまい、頂いた名刺を整理して後から気がついてビックリ…。そんな経験ありませんか？ この便利機能を使えば、巡ってきた交信チャンスを確実に FB な交信に変えてくれる、とても役に立つ機能です

(図 4-1)。

■「コール・テキスト表示」の設定

早速「コール・テキスト表示」を設定します。

- ① メニューから「オプション(O)」→「環境設定(K)」→「設定 4」のタブを選択する。
- ② 設定画面の最下部にある「ヒットしたらコール・テキスト表示」のチェック・ボックス(図 4-2) にチェックを入れると「フォルダーの参照」画面が表示される。ここで「コール・テキスト表示」を保存するフォルダを作成する。「ローカルディスク(D:)」にある「Hamlog」フォルダ内に「CALL_txt」という名前のフォルダを作成した(図 4-3)。「OK」ボタンをクリックして画面を閉じる。



図 4-1
アイボールの記憶が交信とともに蘇る便利な機能

- ③ 「設定 4」に戻り、「ヒットしたらコール・テキスト表示」の右にある「新規作成」のチェック・ボックスにチェックを入れる(図 4-4)。これで、「コール・テキスト」が未作成の局と交信した場合、新規に作成する機能が有効となる。
- ④ 「保存」ボタンをクリックして環境設定画面を閉じる。「Turbo HAMLOG」をいったん終了し、再起動させると「コール・テキスト表示」が使用可能となる。

■ 「コール・テキスト表示」を使う

- 未交信局の「コール・テキスト」を作成する
 - まだ交信はしていないがアイボール QSO が先行したという場合を想定して「コール・テキスト」を作成します。
- ① 「入力ウィンドウ」を開く。コールサイン入力欄に「コール・テキスト」を作成したい局のコールサインを入力。「コール・テキスト」が開くのを確認する。

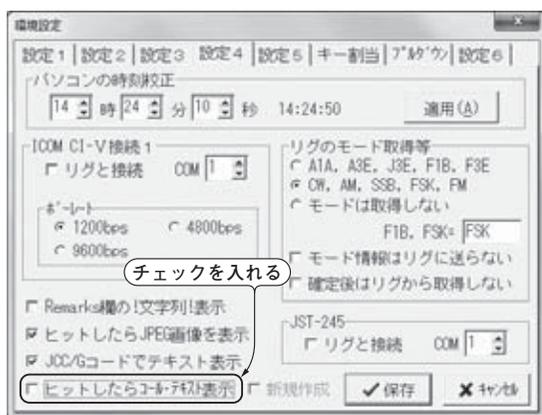


図 4-2 「環境設定 4」にあるコール・テキストの設定

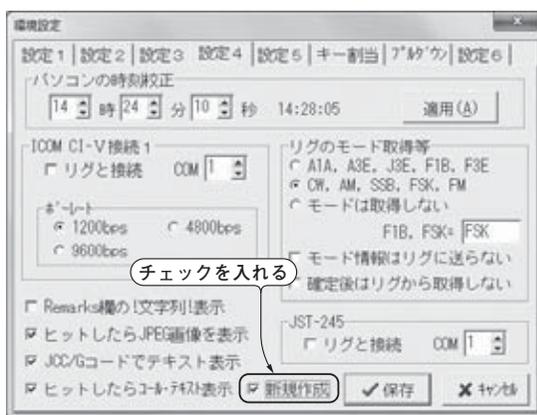


図 4-4 「新規作成」にチェックを入れたら設定完了



図 4-3 「コール・テキスト」を保存するフォルダの作成



5-3 5 交信分のデータを 1 枚の QSL カードに印刷する

「Turbo HAMLOG」には、QSL カードを印刷するためのさまざまな定義ファイルが用意されています。その中に、5 交信分のデータを 1 枚の QSL カードに印刷できる「FiveQSO.qsl」という定義ファイルがあります。本項では、この定義ファイルを自分のハムライフに合わせた形にアレンジする方法を紹介します。

■ なぜアレンジを行うか

「Turbo HAMLOG」に収録されている「FiveQSO.qsl」は、常置場所（設置場所）での交信に限るのであれば、少し手を入れるだけで問題なく利用できます。しかし、自局が移動運用をしたときの交信も含める場合は、この定義ファイルはそのままでは使えず、大きくアレンジする必要があります。それは、QSL カードに必須の記載事項である、自局の運用地を示す項目がないからです。

移動運用マニアの方の中には、毎週違う場所へ出かけて移動運用を楽しみ、おなじみの局と毎回交信するという方もいらっしゃるでしょう。1 枚の QSL カードに、複数の運用地での交信が含まれることもあるはず。そこで、それぞれの交信データに運用地を記載する定義を追加して、どの場所からの運用でも対応できるように、定義ファイルをアレンジします。

自宅からの運用と移動運用時の交信データを、1 枚の QSL カードにまとめて印刷できるので、発行する QSL カードの枚数を抑えられ、手間もコストも省けてたいへん便利です。QSL カードを受け取る側にも、受領チェック時の効率が上がるメリットがあります。

■ どのようにアレンジするか

「FiveQSO.qsl」の定義ファイルへ、一つの交信データごとに自局の移動地やグリッド・ロケータ、そのほかの情報を印刷する定義を追加していきます。こうすることで、移動運用はもちろん、常置場所からの運用や海外局との交信、コンテストでの交信など、すべての交信に使えるようになります。

ただ、相手が移動運用だった場合の相手局の運用地は記載していません。しかし、この定義も追加することは可能です。その方法はあとで紹介していきます。

■ 定義ファイルの修正

メイン画面のメニュー・バーから「オプション(O)」→「QSL カードの印刷(Q)」と進んで、「QSL カードの印刷」画面を表示させます(図 5-22)。「定義ファイル(F)」をクリックし、「QSL カード定義ファイル」画面から「FiveQSO.qsl」を選び、「開く(O)」をクリックします。その後、「編

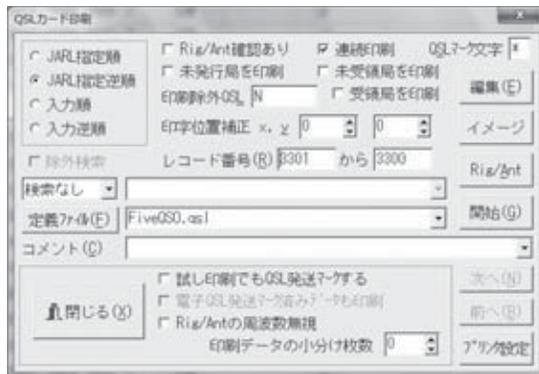


図 5-22 「QSL カード印刷」画面

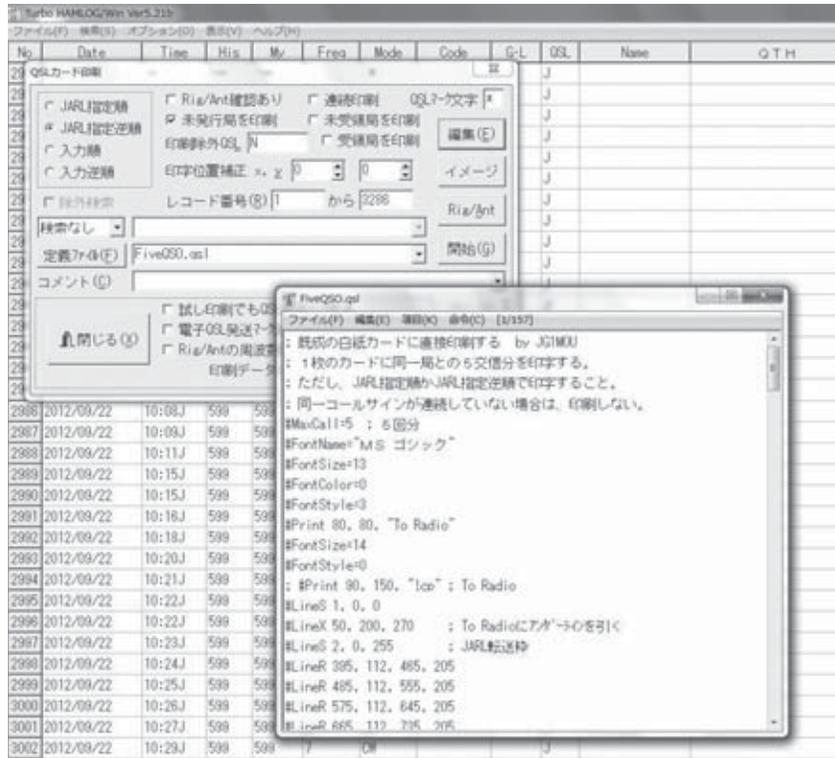


図 5-23
定義ファイル「FiveQSO.qsl」
を開く

集 (E)」をクリックすると「FiveQSO.qsl」の定義ファイルが開きます (図 5-23)。この定義ファイルに手を加え、さまざまな運用スタイルで使えるような定義ファイルに書き換えていきます。

定義ファイルの編集画面でメニューの「編集 (E)」→「印刷イメージ (I)」をクリックすると、QSL カードの印刷イメージが表示されます (図 5-24)。表示された QSL カードを見ると、それぞれの交信データ欄に追加の情報を書き込むスペースがありません。そこで、交信データ欄に追加項目を書き込むためのスペースを作る作業を行い、移動運用時の運用地、JCC/JCG ナンバー、グリッド・ロケータ、そのほかのコメントなどを印刷する定義を加えます。



図 5-24 「FiveQSO.qsl」の印刷イメージ



7-2 0（ゼロ）とO（オー）を容易に区別するために 0（ゼロ）に斜め線が入ったフォントを使う

Turbo HAMLOG に入力するとき、数字の「0（ゼロ）」とアルファベットの「O（オー）」の区別が付きにくく、不便に思ったことはありませんか？ 0の代わりに「Ø」のように0に斜め線が入ったフォント（書体）をパソコンに追加（インストール）しましょう。とても見やすくなりますよ。

■ フォントを入手する

Turbo HAMLOG は、パソコン内にインストールされているフォントを使うことができます。残念ながら、Windows 標準のフォントには、ゼロに斜め線が入ったものは見あたりません。そこで、ゼロに斜め線が入ったフォントを追加して、Turbo HAMLOG でも使えるようにする方法を紹介します。

おすすめのフォントは、経済産業省所管の独立行政法人情報処理推進機構（IPA）※1 が公開している、IPA フォントの「IPA ゴシック」です。ア

ルファベットも見やすくて、とてもいい感じです。

Web サイト（図 7-12）にアクセスして、「IPA フォント」をクリックします。「IPAex フォント/IPA フォントダウンロードトップページ」が開くので、「IPA フォントの詳細とダウンロード」をクリックしましょう。表示されている「IPA フォントライセンス」の内容に同意したうえで、その下にある「TTF ファイル」の中の「IPA ゴシック (Ver.003.03)」ipag00303.zip (4.09 MB) を選んでダウンロードします。これ以外のフォントを選ぶと、ゼロに斜め線が入らないものもあるので、注意してください。

ダウンロードしたのは圧縮ファイルなので、任意の場所（デスクトップで OK）に解凍しておきます（図 7-13）。

※1 <http://www.ipa.go.jp/>



図 7-12
情報処理推進機構（IPA）
の Web サイト



■ フォントの追加方法

Windows へのフォントの追加は、コントロールパネルから行います。「スタートメニュー」から「コントロールパネル」→「デスクトップのカスタマイズ」→「フォントへ」と進み、フォントの一覧を表示させます(図 7-14)※2。「フォント」フォルダが表示されない場合は、クラシック表示に切り替えてください。

現在、インストールされているフォントが表示されるので、先ほどダウンロードして解凍しておいた「ipag00303」フォルダの中にある「ipag」というファイル(図 7-15)を、ドラッグ&ドロップ



図 7-13 「ipag00303」というフォルダが現れる



図 7-15 IPA ゴシックの追加作業

して追加します。インストールが確認したら(図 7-16)、コンピュータを再起動してください。

※2 「フォント」画面は OS によって異なります。この画面は Windows 7 のもの。

■ 追加したフォントを設定する

追加したフォントを、Turbo HAMLOG のメイン画面と入力画面に設定します。

・メイン画面のフォント変更

Turbo HAMLOG のメニューバーから「オプション」→「環境設定」をクリックし、「設定 1」タブをクリックします。

「システムフォントを使う」のチェックを外し、「フォント変更」ボタンをクリックします(図 7-



図 7-14 コントロールパネル内のフォント画面



図 7-16 フォントが無事に追加された

見本

ISBN978-4-7898-1594-9

C3055 ¥2200E

CQ出版社

定価：本体2,200円（税別）



このPDFは、CQ出版社発売の「ひとつ上のハムログ活用」の一部見本です。

内容・購入方法などにつきましては以下のホームページをご覧ください。

内容 <http://shop.cqpub.co.jp/hanbai/books/15/15941.htm>

購入方法 <http://www.cqpub.co.jp/order.htm>

アクティブ・ハムライフ・シリーズ

Turbo HAMLOG for Windows をもっと使いこなすために

ひとつ上のハムログ活用